

# 「歩き方良くなっている」

## 袴田さん映画 姉、巖さんの近況報告 中区で試写会

静岡地裁で再審開始

決定を受けた袴田巖さん(79)の釈放後の日常を収めたドキュメンタリー映画「夢の間の世の中」の試写会が6日、

浜松市中区の木下恵介

記念館であった。姉の秀子さん(82)は舞台あいさつで「巖の歩き方が良くなっているのが一番印象的」と映画の

感想を述べた。

金聖雄監督は同市内にある袴田さんと秀子さんの自宅へ1年半ほど通い、2人の生活を追い掛けた。上映後のあいさつで「僕らが思うよりも巖さんの心の闇は深い。だからこそ秀子さんの明るさに救われる」と語った。

秀子さんは8日で83歳になる。この日、袴田さんが朝食時に「誕生日か?と言って財布から3千円をくれた」(秀子さん)という。袴田さん自身は日課の散歩に出掛けたため、試写会は欠席した。



映画にまつわるエピソードや袴田さんの近況を語る姉の秀子さん(右)と金監督

＝浜松市中区の木下恵介記念館